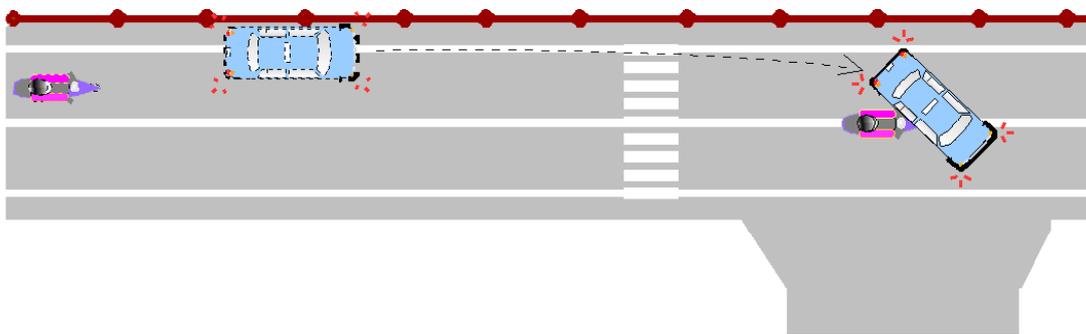


事故事例6（一般乗用）転回しようとして後続の原付と衝突

曜日・時間・天候	9月9日(火)・9時05分・晴
場所	一般道 制限速度 40km/h
道路の状況	乾燥 幅員9.7メートル
運転者	年齢41歳 運転歴0年2月
乗務開始～事故発生の乗務距離	4.1km
損害	重傷1名、軽傷1名

事故概要

当該タクシー運転者は、運行管理者の点呼を受け5時13分に出庫、5回営業後、8時57分に無線配車を受け、当該地点で乗客1名を乗せ、後方（後方30m付近）から来る原動機付自転車を認識していたが、相手方が譲ってくれるものと思い、ハザードランプを点けたまま、転回を開始したため、後方より進行してきた原動機付自転車の進路を妨害し衝突したものの。



種別・形状	小型・箱型
乗車定員	5名
当時の乗車人員	2名

推定原因

運転者

後方安全不確認

事故の要因

運転者

原動機付自転車との距離の判断を見誤った。
後方への合図の方法を誤った。（ハザードランプ点灯）

事故再発防止対策

運転者

- ・ 発進の際は後方の安全確認を確実に行う。
- ・ 転回する際は合図を的確に行うこと。

運行管理

- ・ 運転者に対し、輸送の安全確保についての指導監督の徹底
特に発進時、方向転回する際の後方確認・合図の方法
- ・ 初任適性診断結果に基づく適切な助言指導の徹底